

## 「エコプロ 2021」に出展しました。



流行語大賞に「SDGs」がノミネートされた、2021年。

サステナビリティや社会課題への関心がますます高まる中、  
“持続可能な社会の実現に向けて”をテーマとする「エコプロ 2021」が  
2年ぶりにリアル開催されました。

「エコプロ」は、カーボンニュートラルやSDGsに関する  
製品、サービス、取り組みなどの最新情報を提供する展示会です。

23回目となる今回の「エコプロ 2021」は、  
ビジネスマンはもちろん、学生や社会科見学の小学生、  
家族連れなど幅広い層の人々で賑わい、  
12月8日～10日の3日間でおよそ55,000人が来場。  
国内最大級の環境系ビックイベントであることが、よくわかります。

循環型未来の創造を目指している私たちキュアテックスも、  
この「エコプロ 2021」に参加。

土から生まれて土に還るサステナブル素材である  
和紙繊維〈CURETEX®〉をメインにしたブースを出展しました。

当社ブースに足を運んでくださったみなさま、  
誠にありがとうございました。

ブースでは、〈CURETEX®〉100%のTシャツやあぶらとりハンカチ、洗顔クロスといった製品の展示をはじめ、手間ひまかける〈CURETEX®〉の製造工程などをご紹介します。

スタッフが身につけている〈CURETEX®〉100%のTシャツやデニム、展示していたハンカチや洗顔クロスを見て、触れて、「えっ、これが和紙なの!？」  
「和紙ってとっても普通の生地なのね」  
と驚きながら関心を持ってくださる方が多く、〈CURETEX®〉の魅力を感じていただく貴重な機会となりました。

またブースには製品だけではなく、「土に還る」ことを実感していただく工夫も。

トマト苗のプランターの土の上に〈CURETEX®〉100%のマスクを置き、数日後、1カ月後、2カ月後と生分解が進んでいく様子を実物で展示したところ、わかりやすい、と、みなさま興味を持ってくださったようです。

さらに、「店舗・オフィス用品をゴミにしないで野菜を育てる」新しいビジネスモデルを初披露。

「×CURETEX 循環型未来共創プロジェクト」とともにご紹介し、多方面の企業の方からさまざまなお声をいただき、対面で直接お話しできる喜びを感じることができました。

ご来場のみなさまとの出会い、そしていただいた貴重なご意見に、循環型未来創造の新しい可能性を見出した「エコプロ 2021」。

まだまだコロナ禍にいる年末ですが、だからこそ、来る2022年への期待が高まります。

アフターコロナの明るい未来を思い描き、気持ちも新たに、新しい年を迎えましょう。

今年一年、ありがとうございました。

みなさま、どうぞよいお年をお迎えください。